



地域と医療のコラボレーション

ハーモニー

Harmony ♪

第21号

2011 / May

発行 / 医療法人社協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

東日本大震災について

3月11日午後2時46分、M9の大地震が東北地方を中心に起きました。当院でも震度5強という、過去に体験したことのない大きな揺れを感じました。

当院では災害対策本部を隣接している公園に設置し、外来患者様、入院患者様の避難誘導を行いました。約1時間後には電気・水道などのライフラインが復旧し、患者様の安全確保の後、病棟への搬送を行いました。夕食時になっても地震の影響でエレベーターが停止状態でしたので、階段に職員が並び、人海戦術で入院患者様への食事を提供することができました。

3月14日からの輪番停電(後に計画停電)に備え、人工呼吸器等、非常時の電源切り替え作業をし、自家発電に必要な軽油他、今後計画停電が続いた際に必要な物資の確保に奔走しました。幸いにも当院は計画停電の除外区域となり、外来、検査、手術、入院等は通常の運用ができ、福島からの被災患者様を受け入れることが出来ました。また、一時避難所となったさいたまスーパーアリーナでは医師、看護師による救護活



COOL BIZ

当院では節電対策としてクールビズを実施しています。病院内28℃設定のご理解ご協力をお願いします。

(期間：5/16～10/31)

当院では節電対策としてクールビズ【ノー上着ノーネクタイ】を実施しています。また、病院内のエアコン設定28℃のご理解ご協力をお願い致します。

(期間：5/16～10/31)

【総務人事課 係長
田中裕之】

被災された方々の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

動を行い、今後も救護班の派遣や被災者の病院受け入れ体制、地域に必要なとされる医療を提供していきます。皆さまからお預かりした義援金額22万7千202円(3月14日～4月11日)は日本赤十字社へ寄付しましたことをご報告致します。皆様の暖かいご支援、ご協力に感謝致します。

東日本大震災により、被災された方々の安全



診療科だより

肝臓外来



消化器内科
医師 市原 広太郎

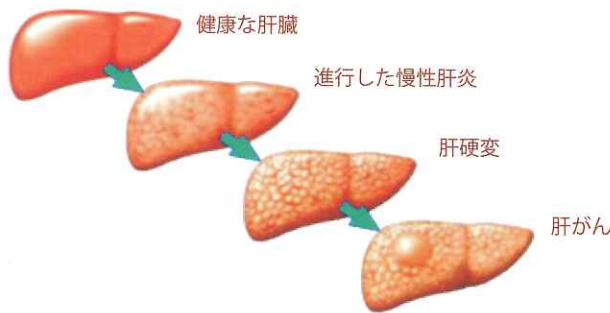
平成23年4月より肝臓専門外来が開設されました。肝臓と言えば、お酒の飲みすぎ、疲れすぎなどで悪くなるのではないかと、漠然と考えている方も多いかもありません。市や会社の健康診断で、「肝臓の値が悪くなっています。」などと指摘されても飲みすぎのためと安易に考えていらつしやらないでしょうか。

沈黙の臓器「肝臓」

肝臓の働きには余力があり、肝臓はよく「沈黙の臓器」と言われます。肝臓は自分では気付かないうちに（無症状のうちに）病気が進行していき、症状が出て病院に駆け込んで来た時にはすでに末期の肝硬変や肝臓がんであったという方もしばしばおられます。

肝臓の病気

肝臓に炎症が持続的に起こる「慢性肝炎」の状態は確かにアルコールの過剰摂取でもおこり得ます。しかし、そういう方の中にはB型やC型の「ウイルス性肝炎」という病気が潜んでいることがあります。この慢性肝炎の



状態を放置しておくと、徐々に肝臓の繊維化や萎縮が進み、肝臓がまさに硬く小さくなる「肝硬変」に陥ります。肝硬変になると、年間約7%の方に「肝臓がん」ができるといわれています。単純計算をすると肝硬変の方は、10年以内に半数以上の方が発がんすることになります。日本には、知らないうちにこのような慢性肝炎や肝硬変を患っている方が未だにたくさんおられ、注意が必要です。

さいたま市地区で肝臓病診療が可能な医療機関として

埼玉県、殊にさいたま市においてはこのような肝臓疾患に関して言えば、患者様の数に対して肝臓専門医や専門の治療ができる病院が、全国平均に比べ極端に少ないというのが現状です。東大宮総合病院ではこの地域のニーズに応えるべく、肝臓専門診療チームを立ち上げました。

肝臓の病気

急性肝炎	A型肝炎	ウイルスを含む食物を食べたり、飲んだりすることによってかかります。汚染された生水や貝などが原因になります。
	B型肝炎 C型肝炎	ウイルスを含む体液や血液が体内に入ることにより起こります。輸血のほか、肝炎にかかっている人と性交することでも感染します。
	慢性肝炎	肝臓での炎症が6ヶ月以上持続する状態を指します。日本では70%強がC型肝炎ウイルス、約20%がB型肝炎ウイルスによるものです。B型、C型ともに肝炎の炎症状態が継続すれば、徐々に病気が進行して肝硬変へと移行することになります。B型肝炎、C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では細胞分裂を繰り返すことにより肝がんの危険性が高まります。
肝硬変	あらゆる慢性進行性肝疾患の終末像です。肝硬変では、肝臓の細胞が破壊され、肝臓は正常の機能を営むことが出来なくなります。日本ではB型肝炎、C型肝炎が肝硬変全体の80%を占め、アルコールによるものが10%ほどです。	
肝がん	肝細胞に由来する肝細胞癌と、胆管細胞に由来する胆管細胞癌がありますが、それ以外にも胃がんや大腸がんなどほかの臓器から転移してくる転移性の肝がんもあります。肝細胞癌はその原因の大部分（90%近く）が、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスによるものです。また、肝細胞癌の約90%が肝硬変を合併しています。	

日本肝臓学会認定肝臓専門医、指導医である総合診療科 神田部長を始め、消化器内科、外科医師がお互いに密な連携をとりつつ専門診療を行います。肝臓に関してちょっとした気がかりな点から、専門的な診療まで、まずは肝臓専門外来にてご相談させていただきます。予約制ではありませんので、お気軽にご相談ください。

受付・診察時間	肝臓外来担当医	
毎週月曜日 受付13:00~17:20 (診察14:00~)	総合診療科 神田部長	内科 市原(広)医師

より良い病院を目指して

■□■ PACS（画像保管通信システム）の導入 ■□■

当院では、平成23年3月22日よりPACS；Picture Archive and Communication System（画像保管通信システム）の運用を開始致しました。PACSとは、放射線医用画像（レントゲン・CT・MRIなど）をデジタルデータとして画像サーバーで管理し、ネットワークを介して画像端末で検査結果を閲覧できるシステムであり、導入において以下のようなメリットがあります。



Merritt

- 画像データはデジタル化し保存されるので、フィルムのように劣化がない！
- 検査直後に画像データが外来・病棟に配信されるので患者様の待ち時間が短縮！
- 他病院へのご紹介などの際にも、画像データをフィルムコピーではなく、CDにコピーし持ち運びでき、通常のパソコンでの参照が可能！

特に画像診断においては、デジタルデータのため症例に応じた拡大・濃度調整が可能であり、過去の画像データなどもネットワークを介して待つことなく閲覧が可能になるなど、画像診断の質の向上も期待できます。

平成23年度 新入職員

4月より研修医（2名）看護師（12名）、准看護師（1名）、薬剤師（1名）、臨床工学技士（1名）、理学療法士（2名）、作業療法士（1名）、言語聴覚士（1名）、視能訓練士（2名）、事務職（1名）、総勢24名が新入職員として仲間入りしました。研修・オリエンテーションを経て各業務に当たっております。まだまだ未熟な新入職員ですが、東大宮総合病院の一員となって頑張りますので、よろしくお願い致します。



4月28日より受付中！

さいたま市住民健康診査のご案内

生活習慣病は発症しても痛みや不調などの自覚症状に乏しく、危機感も抱きにくいため知らないうちに進行し、動脈硬化から心筋梗塞や脳卒中へと進行する可能性が高くなります。年1回の健診を受けることで、ご自分の生活習慣を見直し、予防・改善することが大切です。



●実施期間

平成23年4月28日～平成24年3月10日

●受付時間

	月	火	水	木	金	土
9:00～11:00	●	●	●	●	●	●
14:00～16:00	●	●	●	●	●	●

(土曜日午後、日曜祝日は休み)

●ご注意ください

- 健康保険証、さいたま市から交付された受診券・はがきをご持参の上お越しください。
(検査内容により、さいたま市から交付されているものは異なります)
- 受診券(特定健診、長寿医療健康診査、健康増進健康診査受診の方)、健康保険証をお忘れになると受診できませんので、必ずご持参ください。

今年度から特定健康診査(さいたま市国民健康保険加入者で40歳～74歳の方が対象)・健康増進健康診査(支援給付制度受給者で40歳以上の方が対象)の検査項目に心電図検査が追加になりました。また、骨粗鬆症健診の対象年齢が40歳・45歳・50歳及び55歳以上の女性に変更(※22年度までは18歳以上の女性)になっておりますのでご注意ください。受診者負担金額では、がん検診の大腸がん・肺がん・乳がん・骨粗鬆症が変更になっております。

お手元に届いたがん検診のはがきの裏面をご参照ください。



当院の 数字アラカルト

平成22年度は当院にとって変革の年となりました。まず、医師数を大幅に増員したことで、NHKから取材を受けました。医師の大幅増員は、医療の質、経営の質にもインパクトを与えることとなり、70床あった療養病床を全床一般病床化(内32床回復期リハビリテーション病棟)することにより当院の急性期医療への体制がますます進みました。

そして、総合診療科の開設や当直2診体制化などの活動により、入院患者数においては前年比15.6%UP、紹介患者数については前年比20%UP、救急車受け入れ件数については前年比25%UPとなりました。

外来患者数	721.2人/日
入院患者数	266.8人/日
在院日数	17.4日
ベッド稼働率	84.4%
救急件数	293.3件/月
手術件数(全麻)	61.4件/月
心臓カテーテル検査件数	29.4件/月
内視鏡件数	383.9件/月

(平成22年度 平均)

編集後記

被災地から当院に入職した新卒者がいます。1ヶ月の研修を終え、配属された各部署で毎日の業務に励んでいます。まわりの私たちもより良い医療を提供できるよう、初心を忘れず、業務に取り組んでいきたいと思えます。

医療法人社協友会

東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分